平成22年

英国で活躍する抒情書家

能登町を古里として

英能

室谷文音がつづる フォトエッセイ。



遠島山公園「Nーモニーセンター」から見える木蓮の木。 白い花と青い海の美しいコントラストは能登だからこそ

今では一番お互いを理解した幼なじみで

あの時いじめてごめんね」といじめっ子

リスへ行ってから3

現代美術館からセントポール大聖堂を見た景色ですのミレニアム・ブリッジはロンドン生活の中で一番歩いた橋かもしれません。

教室では誰も話してくれず

操服がゴミ箱の中にあったりしまな箱の中の鉛筆が全部折れていたり

です。

苦しんでいたのだとわかるようになりました。 そしていじめていた子たちも

親から必要な時に愛をふりそそいでもらえず

室谷文音(むろや・あやね)

ふり返ってみると、そのおかげで今強

昭和 55 年大阪府生まれ。平成 15 日まで開催する合同展『遠 島山公園「ハーモニーセンター」 物語』では、ヨーロッパで活躍 する若手アーティストを招く。



だった

『ラブ・ソング』



PRINTED WITH SOY INK

「いじめられっ子は たくましい」

「広報のと」5月号の印刷費は一部当たり19円です。

子どもの笑顔が

広報のと No. 63

Photo / 宇出津曳山祭り(4月17日)